

**(3)社会の健康 : テーマ⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について**

**1グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の利用は改善され便利になった</li> <li>・ 身近な学習施設が充実</li> <li>・ 市民活動がさかん</li> <li>・ かなり自由に使える施設</li> <li>・ 学習センターが各地にある</li> <li>・ 市民中心に活動が進む</li> <li>・ サークルの多さ</li> <li>・ 各コミセンを利用し、活動できる（住まいに近い）</li> <li>・ 高齢者の学習者が多い。学習センター、スポーツセンター</li> </ul> <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的文化財等</li> <li>・ それなりの歴史あり</li> <li>・ 学ぶためのマンガあり（副読本）</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なでしこ女子サッカー→クラブ卒業生コーチにくる</li> <li>・ 施設の利用者が多い。場所代が安い</li> <li>・ 映画の撮影ポイントが多い</li> <li>・ フィルムコミッション</li> </ul>	<p>(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館が駅から遠い</li> <li>・ 図書館の蔵書が少ない</li> <li>・ 学習センターの所在地が分かりにくい</li> <li>・ 芸術ホールが小さい</li> <li>・ 大きなホールがない（1,000人程度）</li> <li>・ 文化施設の不足</li> <li>・ 施設・文化財の知名度</li> </ul> <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土芸能が少ない</li> <li>・ 郷土資料館の利用者減少はイベント性が少ないからと思う</li> <li>・ 小学生に市の歴史を学ばせているのか</li> <li>・ 古い街並みの保存は進んでいるのだろうか</li> <li>・ 子ども達の学校から資料館への見学を進める</li> </ul> <p>(生涯学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習をやりたい人の受け皿不足</li> <li>・ 知的要求は強いので、それに見合う講座等が必要</li> </ul> <p>(スポーツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散歩道、サイクリングロードが分断されている</li> <li>・ 芝生グラウンドの充実</li> <li>・ スポーツ施設が少ない</li> <li>・ 地域で子どもたちと高齢者が共にふれあえる場所があるといい</li> <li>・ スポーツ施設が北部地区に少ない</li> <li>・ コミュニティセンターの場所取りが苦手。半日係る場合がある</li> <li>・ 人工芝のスポーツ広場がない</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和市の三大特徴はなんだろう</li> <li>・ 芸術や文化に触れる機会を増やす</li> <li>・ 市域の文化的一体感がない</li> <li>・ 市民文化祭をアピールしよう</li> </ul>



【課題】

- ・ 歴史を教える機会
- ・ 子どもへの教育
- ・ 企画性の重要さ
- ・ 図書館の内容充実
- ・ 時間延長
- ・ 文化施設
- ・ スポーツ施設の充実
- ・ 散策コース（マップあり）、ウォーキングの企画
- ・ 大和らしい伝統の掘り起こし
- ・ 行政主導
- ・ 本づくり
- ・ 地区ごと
- ・ 郷土史家を巻き込む
- ・ 高齢者を巻き込んで聴き取り
- ・ 資料館の有効活用



大和市の主要課題

1. 大和らしい伝統の掘り起こし
2. 図書館や文化施設の充実
3. スポーツ施設の充実

主要課題への対応方針・解決

1. 郷土史家、趣味のサークル等の活用
2. ・量より質の充実  
・時間の延長  
・新施設の建設
3. ・（スポーツ施設の）北部への進出  
・なでしこ（女子サッカー）に特化する 他  
・既存チームへの援助  
・全国レベルへのサポート

作業シート (写真)

討議テーマ **豊かな心を育む生涯学習、文化活動について**

グループ 1

**強み** (Strengths):

- 図書館の蔵書が豊富
- 市民の意識が高い
- 歴史的文化財が豊富
- スポーツ施設が充実

**弱み** (Weaknesses):

- 図書館の蔵書が少い
- 文化施設の不足
- 歴史的文化財の知名度が低い
- スポーツ施設の不足

**施設** (Facilities):

- 図書館の蔵書が少い
- 文化施設の不足
- 歴史的文化財の知名度が低い
- スポーツ施設の不足

**生涯学習** (Lifelong Learning):

- 生涯学習の機会が少ない
- 市民の意識が高い
- 歴史的文化財の知名度が低い
- スポーツ施設の不足

**歴史** (History):

- 歴史的文化財の知名度が低い
- 歴史的文化財の保存が不十分
- 歴史的文化財の活用が不十分

**スポーツ** (Sports):

- スポーツ施設の不足
- スポーツ施設の充実
- スポーツ施設の活用が不十分

**課題** (Issues):

- 歴史を教える機会が少ない
- 子どもの教育の重要性
- 図書館の充実
- 時間の延長
- 文化施設の充実
- スポーツ施設の充実

**大和市が抱える主要課題** (Main Issues Faced by Yamato City):

- 大和市の歴史
- 行政主導
- 市民の意識
- 地区ごとの取り組み
- 郷土史家の活用
- 高齢者の活用
- 資料館の活用

**主要課題への対応方針・解決策** (Response Policy/ Solutions for Main Issues):

- ① 大和らしい伝統の掘り起こし: 郷土史家・趣味のサークル等の活用
- ② 図書館・文化施設の充実: 量より質の充実、時間の延長、新施設の建設(文化施設)
- ③ スポーツ施設の充実: 北部への進出、なでこ特化、既存チームへの援助、全国レベルへのサポート

## 討議内容の発表

## 【強み】

- ・ 強みとしては、図書館の利用方法を変更した。駅にポストが出来たり、利用時間が延びたりといったことが挙げられる。また学習センターがいろいろなところに点在して、それらが自由に使えることが良いのではないかと。またそのことを通して、市民活動が盛んになって生涯学習に取り組む気持ちが生まれるのではないかと。なでしこ J A P A N も強みとしてあげられる。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては、大和市は歴史があるが、みんなに知られていない、といったことが挙げられた。
- ・ 図書館の場所が遠い、蔵書は増えているが、質がいまいちである。
- ・ 学習センターは駅に近いところが少なく、住所だけだと所在が分かりにくい。コミュニティセンターはいろいろとあるが、知っている人が少ないといったことも挙げられた。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、大和市を知る機会が少ない。図書館をハード面、ソフト面共に充実させる。図書館と文化施設を一緒に考えて、イベントが行える場所が少ない中、何かイベントを行うときに大丈夫なのか？といったことが挙げられた。
- ・ まとめると、大和らしい伝統の掘り起こしが第一の課題である。大和を知らなければ、大和市のことを語れない。大人も勉強しなければいけないが、子どもたちも勉強した方が良いのではないかと。子どもは身近な土地の歴史を勉強するといった話を持って帰ってこない。そういったことを充実させるために、郷土史のようなものをつくってはどうか。それぞれの地区に在ろう、昔のことを研究している人達を巻き込む。また大和市は古い街なので、それぞれの地区に在る名士や地主に対して、昔の大和市について聞き取り調査を行うことが良いのではないかと考えた。そこから波及して、高齢者などに昔の話を調査し、本や郷土史をつくるといった目標を持って活動し、その活動のために行政が声をかけることが望ましいと考えた。趣味では限界があるため、行政が声かけをし、周りを巻き込んで調べて、みんなに発表することが良いのではないかと。
- ・ 図書館の印象は本屋と変わらないため、量より質を充実させた方が良い。貸出時間を延長させることも提案された。返却ポストがあったとしても、手渡しでの返却が必要とされる本であれば、働いている人がその時間までに図書館に行くことは不可能である。最終的に新しい施設をつくってはどうか、文化施設と一緒に新しくつくってみてはどうか、といった意見が挙げられた。
- ・ 第三の課題は、スポーツ施設の充実で、南部は施設が充実しているが北部は少ない。まんべんなく大和市のどこでもスポーツが出来るようになればいいと思う。そのためには、行政に努力していただきたい。なでしこ J A P A N についても、特化したものが出来てはどうかといった意見が挙げられた。例えば、サッカーチームを市が支援し、練習場の確保や、保護者ができないことを行政がサポートすべきであると考えた。全国レベルの人達に対してのアピールが不足している。
- ・ 中央林間で一輪車のクラブが優勝した事例もあったが、知らない人も多数いた。そういったことをもっとアピールすることが良いのではないかと。



**(3)社会の健康 : テーマ⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について**

**2グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(人物)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根岸さん、なでしこジャパン</li> <li>・ 地域人材の活用</li> <li>・ 古老の存在</li> </ul> <p>(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安い料金でスポーツできる</li> <li>・ 野球場</li> <li>・ 学習センターでのイベントが多い。参加しやすい</li> </ul> <p>(イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝霧市</li> <li>・ 大和まつり</li> <li>・ 骨董市</li> </ul> <p>(街)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動は比較的楽</li> <li>・ 刺激が多い</li> <li>・ 若い人が多い</li> <li>・ 子どもが生き生きし、育つまち</li> </ul>	<p>(人物)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化人が少ない</li> </ul> <p>(街)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パチンコ屋</li> <li>・ 交通事故が多い</li> </ul> <p>(イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和の文化活動の内容を知らない</li> <li>・ 寺子屋的教育弱い</li> <li>・ スポーツセンターで年齢的に参加できないものが多い</li> </ul> <p>(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセス悪い</li> <li>・ 駐車場が少ない</li> <li>・ スポーツ施設が少ない</li> <li>・ 大学がない</li> <li>・ 学習センターの部屋が狭い</li> <li>・ 文化・歴史施設は少ない</li> <li>・ 学習センター古い</li> <li>・ 子どもがいるとスポーツセンター利用しにくい</li> <li>・ 身近な場所に野菜売り場がほしい</li> </ul> <p>(図書館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の本の内容が分からない</li> <li>・ 図書館いまいち</li> <li>・ 図書が少ない</li> <li>・ 図書館の場所が分からない</li> <li>・ 学校にも本が少ない</li> </ul>



【課題】

- ・ 地域人材の活用
- ・ 市民の活用
- ・ 文化人の活用
- ・ 市民寺子屋制度
- ・ 広報誌の活用
- ・ 広報やまとの改革
- ・ 自治会未入会に広報は届かない
- ・ イベント内容の告知の方法
- ・ イベント周知システム
- ・ 防災無線を使う
- ・ 広報誌が市民全員に届くように
- ・ 誰にでも開かれた施設
- ・ 託児制度の制度化
- ・ 施設の充実
- ・ 図書室ではなく図書館
- ・ 文化の薫りする街
- ・ 行きたいと思える施設
- ・ パチンコ規制



大和市の主要課題

1. 地域人材の活用
2. 施設の充実
3. イベント等の告知

主要課題への対応方針・解決

1. 地元の文化人等を活用した勉強会・講演会
2. 市民ボランティアを活用した託児システム  
・ 図書室のアップグレード
3. 広報誌が市民全員に届くような制度づくり  
・ 防災無線をイベントの告知に利用

作業シート (写真)

議題テーマ **豊かな心を育む生涯学習・文化活動**

グループ **み**

【課題】

大和市が抱える主要課題	主要課題への対応方針・解決策
① 地域人材の活用	・地域文化人等と活用促進委員会
② 施設の充実	・市民ボランティアを活用した見守りシステム ・図書館のP.A.化
③ イベント等の告知	・広報誌が市民全員に届くよう体制づくり ・防災無線もイベントの告知に利用

## 討議内容の発表

## 【強み】

- ・ 強みとしては、なでしこ JAPAN や根岸さんといった著名人がいることが挙げられた。また野球場やスポーツセンター、生涯学習センターがあり、イベントも多い。また大和まつりや骨董市、朝霧市などのイベントがある。若い人も多くなっている。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては、文化人が少ない。文化活動内容が良く分からない。図書館の場所が分かりにくく、図書が少なく欲しい本がないこともある。学校にも本が少ない。施設はあるが、アクセスが悪く駐車場もない。学習センターは座る場所が無く古く、利用しにくい。イベントはあるが、年齢制限があるなど、子連れだと行きにくい。

## 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、イベント内容の告知方法があげられた。また自治会未加入だと知りにくいいため、その解決方法についてどうすべきか、ということが挙げられた。市民や文化人の活動について、そういった人達をどのように活用していくのか。施設の充実として、子連れでも行きやすいように託児制度の充実や、図書室に椅子が無く、座って本を読むことがしにくいということだったので、椅子を増やすなどして、行きたいと思う施設をつくるのが課題であるという意見が挙げられた。イベントをどのように告知していくのかということで、広報やまとや防災無線を利用して分かりやすく告知していくことが課題となった。
- ・ 主要課題としては、地域文化人の活用が挙げられた。地元の文化人など（なでしこ JAPAN や弁護士の大澤先生）を活用した勉強会や講演会の実施が挙げられた。
- ・ 二番目として、施設の充実では、市民ボランティアを活用した託児システムの開拓が挙げられた。図書室のアップグレード。外装や内容、高齢者対策として休憩室の設置をすることで、行きやすい施設環境をつくってもらいたいことが挙げられた。
- ・ 三番目として、イベントなどの告知について、広報誌が市民全員に届くような方法をつくってもらいたい。防災無線を使ってイベントを告知してもらったらいのではないかと意見が挙げられた。



**(3)社会の健康 : テーマ⑨まちの活力や賑わいについて**

**3グループ**

【強み】	【弱み】
<p>(コミセン・集いの場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習を通し、共通の楽しみの中、参加できることが多い</li> <li>コミセン、館数が多い</li> <li>コミュニティセンターの利用がたくさんある</li> <li>自治会活動が盛ん（ふれあい広場、運動会）</li> </ul> <p>(外国・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国の食堂など珍しい食べ物がある</li> <li>国際色豊か（70カ国以上）</li> <li>多文化交流が行われている</li> <li>多国籍の市民が多い</li> </ul> <p>(観光資源・歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お寺、緑が多い</li> </ul> <p>(イベント・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント盛ん→骨董市、阿波踊り、よさこい</li> <li>地域のイベントが実施されている</li> <li>世代間交流が多い</li> <li>お祭り等のイベントが多い</li> <li>骨董市がある</li> </ul> <p>(観光資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大和駅、中央林間駅は私鉄が交差し、人との出入りが多い</li> </ul> <p>(桜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜の季節は、桜ヶ丘の川沿いは花見の人でにぎやか。出店など</li> <li>千本桜</li> </ul> <p>(食：地域野菜、B級グルメ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元の野菜が買える</li> <li>B級グルメが多い</li> </ul> <p>(なでしこ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なでしこ J A P A N</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィルムコミッション</li> <li>ヤマトン</li> </ul>	<p>(交流の広がりがない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流イベントー地域参加が少ない</li> <li>旧住民と新住民との交流の場があまり無い（自治会は別）</li> <li>多国籍文化を活かしたイベントが多ければと思う</li> <li>他国の方が多いが、文化交流が少ない</li> <li>自治会のイベントへの参加者が少ない</li> </ul> <p>(商店街がさみしい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商店街が飲み屋さん街になっている</li> <li>商店街がない</li> <li>大和駅 12月のイルミネーションが貧そう</li> </ul> <p>(地場野菜が高い、使われない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食、地場産物率が低い</li> <li>地元の野菜は買えるが安くない</li> </ul> <p>(外から人を集めていない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人の出入りが多いにも関わらず、人が立ち止まる施設、仕組みに欠ける</li> <li>観光地のような市外から人が来るイベントが少ない</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな産業がない</li> <li>会社が設立しにくい</li> <li>コミセンに行きづらい（駐車場がない）</li> <li>施設の利用、年代高齢化</li> <li>コミュニティに参加したいと思う人が多いが、どうしたらいいかわからないという意見を良く聞く</li> <li>コミュニティの希薄化</li> <li>就職率が低い</li> </ul>



【課題】

(イベント)

- ・ 全国的イベント（なでしこリーグ）
- ・ 活かす：総合的～に推進
- ・ 観光、行事にする（バス会社に日帰り旅行提案）
- ・ 幅広い年齢層が参加できる
- ・ 外国人市民とのイベントの活性化
- ・ 市民一体感。I LOVE 大和
- ・ 市内の散策、ルートの整備
- ・ 共通～なものを組合せ。イベント化

(文化交流)

- ・ 外国籍者との交流
- ・ 食文化の交流パーティをする
- ・ 外国籍の方との交流
- ・ 外国籍の子どもたちとスポーツ交流をする

(農地の有効活用)

- ・ 農家のプロに来てもらって、自治会で野菜作りの講習会をやってもらう
- ・ 空き地を畑にして、農家の方の力を借りる（新旧交流）

(PR)

- ・ 有名人、マスコミを利用した PR
- ・ メディアへの露出、PR 強化

(商業)

- ・ 活発的な商店街
- ・ 商業地域の環境整備

(その他)

- ・ ハンデキャップ（人権）、サポート体制づくり、差別化をなくす
- ・ 市に新会社の設立の相談場所を設ける
- ・ 施設の充実、拡充
- ・ コミセンへのアクセスの向上



大和市の主要課題

1. 交流の盛んな街づくり
2. 魅力ある商業が栄える街づくり
3. 地域に根付いた会社が育つ街づくり

主要課題への対応方針・解決

1. ・メディアへの露出、PRの強化
  - ・ 色々なものを組み合わせたイベント、ツアー（スポーツ、バスツアー、食のパーティ等）
  - ・ 季節に応じた装飾（統一）
2. 駅前等の商業地域の環境整備
3. ・会社設立のサポート体制の確立
  - ・ コミセン等の地域施設の活用



討議内容の発表
---------

- ・ まちの活力とは、と考えたときに、そこに住んでいる人、仕事をしている人、そこに来る人、それらが盛んにならないといけないということで討議した。

## 【強み・弱み】

- ・ 交流の盛んなまちづくりとして、具体的には、大和市の弱みでいうと、交流の広がりがなく、ということが意見としてあげられた。大和市は年齢層としては30～40代が一番多く居住している。生まれてからずっと大和に居住しているのではなく、他地域から入ってきた人が多い。つまり、もともと古くから住んでいる人達との交流がない。また外国籍の方々と日本人の交流がないし、イベントも聞かない。強みとしては、骨董市など様々なイベントを行っている。また、なでしこJAPNや弁護士先生など、著名人が多く、そういった人達とのイベントの起爆剤があったり、B級グルメも有名である。

## 【課題・解決策】

- ・ 大和市民のためのイベントも豊富であるが、大和市以外の人達が来るようなイベントを充実させる必要がある。そのためには、メディアへのPRが必要という課題が挙げられた。イベントや著名人を組み合わせた観光ツアーなども、旅行会社とタイアップして考えても良いのではないかと、といったことが挙げられた。
- ・ 魅力ある商業が栄えるまちづくりとして、一番交通機関として大きいところは大和駅、中央林間駅といった私鉄が交差するところである。しかし、人が一番流入しやすいが、通過するだけであるとも言える。人が立ち止まる手段が無く、商業施設が充実していないということが挙げられた。駅前等の整備と大和駅のプロムナードの整備が挙げられる。大和駅のイルミネーションは相当に貧相である。昭和的クリスマスを連想させる。プロムナード一面に木が並んでいるので、イルミネーションをもっと充実させる、季節に合わせた装飾を行うといったことでも、話題にはなると思う。
- ・ 最後に地域に根付いた会社が育つまちづくりについては、大和市に登録している会社は年々減少している。小さな会社を立ち上げるときに、なにをすればいいのかといったことについて、回答できる人は少ないと思われる。会社設立にあたって、サポートしてくれる人が市の職員にいればいいと考える。ただ、市役所に来るのも大変なので、コミュニティセンターに常駐するなどが挙げられた。会社の活動に対しても、コミセンを提供するといった対応方針が挙げられた。



**(3)社会の健康 : テーマ⑨まちの活力や賑わいについて**

**4グループ**

**【強み】**

- ・ 面白いイベントが多い
- ・ イベントが多彩
- ・ イベント、お祭りが多い
- ・ 大和市のお祭りは活力があって良い。阿波踊りなど
- ・ 大きな商業施設
- ・ 商業施設が多い
- ・ 美味しい名店がいくつもある
- ・ 多文化共生→大都市へ行かなくても外国のレストランなどが多い
- ・ 今回の市民討議会
- ・ 市民参画の事業を行うと市民から活発な意見が出る
- ・ 地域活動、ボランティアも含めて高齢者の地域活動が活発
- ・ 今回の企画で市役所の人と身近になった。
- ・ 国際色がとても豊か
- ・ 厚木基地とうまく付き合えば、国際的な都市になる
- ・ 外国の人が多いが、共生できている
- ・ 職場と住まいが近い
- ・ 安定した地形地盤で、腰を据えて事業を行える
- ・ 街の活力となるには、まず環境なので、緑の多い泉の森があるのは有名で良いと思う

**【弱み】**

- ・ 地元農家との連携が不十分
- ・ 地産地消が進んでいない
- ・ 住民が地元の企業に就職していない
- ・ 大和市を代表する産業が少ない
- ・ 市民が市外へ働きに（遊びに）出てしまう
- ・ 新産業が育っていない
- ・ 各商店街の衰退と酒場化
- ・ 商店街のにぎわいにかげりがある
- ・ 商店街が寂しい
- ・ 大きな会社の撤退
- ・ 国際交流への参加に壁を感じる
- ・ 外国人との交流がまだ不十分
- ・ 外国人との交流の場が少ない
- ・ 外国人の地域参加
- ・ 文化のマナー
- ・ 男女共同参画っていわれると堅苦しい。いったい何なのか
- ・ 男女共同参画。それぞれの役割
- ・ 横須賀は基地で活性化しているが、厚木基地はそうっていない
- ・ 市民一人ひとりの自治への意識
- ・ 林の中のごみに対して、もう何十年と対策をしていない（街をきれいにする意識が市民も行政も薄い！）
- ・ 若い人の地域活動参加が少ない
- ・ 健全で安全な街への転換
- ・ 座間と境は割と暗く（電灯が少ない）、犯罪が多くなる傾向



## 【課題】

- ・ 商店が島状になっていて、線、面になっていない
- ・ 商店街の活性化のための導線計画
- ・ 畑はあるが、農業の活性化につながっていない
- ・ 企業の出入り
- ・ 工業・農業・商業のメリハリのあるまちづくりの推進
- ・ 産業地域としての魅力が少ない
- ・ 厚木基地のある特色を生かしていない
- ・ 基地オープンの際に大和市として（他の市も）名物を出す（※食物、日本らしい）
- ・ 多国文化を積極的に売り出すまちづくり
- ・ 日米文化交流、食物等
- ・ 外国人のコミュニティの取り組み、地域の一員
- ・ 以前には大和定住センターがあったり、在日外国人が多いので、グローバルな教育の展開を市としても楽しい企画をしてほしい
- ・ 地元の若い人を先頭にしたイベントの推進
- ・ イベントは多いが、世代間で参加の温度差がある
- ・ 子どもたち、青年の不参加、高齢者を理解していけるイベント（大カラオケ大会とか）
- ・ ボランティアを募り、市の行政の人と地域の人と「林中清掃ボランティア」みたいな企画をする
- ・ 市役所や行政の人と身近に討論でき、問題提起ができる場を



## 大和市の主要課題

## 1. 市内産業の活性化

## 2. 厚木基地を核とした多文化共生

## 3. 世代間や地域と行政などの連携強化

## 主要課題への対応方針・解決

1. ・ 新分野の企業誘致（環境・農業等）
  - ・ 産業ツアー
  - ・ 企業適地であることのPR
  - ・ 地盤の良さ
  - ・ 市の産業への指針の明確化
2. ・ 文化交流の機会を増やす
  - ・ お互いの名産品を伝え合う
  - ・ 厚木基地をほめる！（情報を提供する）
  - ・ 市民討議会へ外国人を呼ぶ
3. ・ 老若男女が参加できるお祭りの創出
  - ・ 子どもたちへ地域イベントに参加することを意識付け
  - ・ 市民討議会を日常的に

作業シート (写真)

討論テーマ **まちの活力や賑わいについて**

グループ **4**

**【強み】**

- イベントが多彩
- 大きな商業施設
- 今回の報告の前編
- 地元界隈との連携
- 各商店街の活性化
- 国際交流への参加
- 男女共同参画

**【課題】**

- 商店街の活性化
- 企業への参入
- 外国人の参入
- 外国人の地域参加
- 外国人の地域参加
- 外国人の地域参加

**大和市が抱える主要課題**

- 大和産業の活性化
- 食料基地を核とした多文化共生
- 世代間や地域と行政との連携強化

**主要課題への対応方針・解決策**

- 産業ツアー
- 企業参地 (地産地消)
- 市の産業への参入の明確化
- 文化交流の機会を増やす
- 食料基地を核とした多文化共生
- 外国人の参入
- 外国人の地域参加
- 外国人の地域参加

討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ お祭りやボランティアなどのイベントが活発。国際色豊か。大型商業施設が整っていて、人が集いやすくなっている。美味しいお店がたくさんあるといった意見が出た。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては、イベントがあっても世代間で参加することに温度差がある。国際交流が盛んでない。商店街が衰退している。産業面でも大企業が大和市から出ていってしまったり、事業所も減っている現状がある。仕事も遊びも市内に住んでいても、市外に出ていってしまう人が多いといった点もあげられた。

## 【課題・解決策】

- ・ 大和市産業の活性化としては、仕事をしている人がいれば、人も増えて大和市にいる時間が長くなるということで、産業を活性化させることが大切であると考えた。その意味として、大和市そのものが企業誘致活動をしていくことが必要であると考えた。環境や農業など新事業を育成するようなことを、訴えていくのでは良いのではないかといった意見があった。また、大和市は地盤がとてもしっかりとしており、3.11以降、事業所の分散化について考えている企業が多いので、大和市は企業誘致に対して魅力的なのではないか。産業ツアーなどを行って、地元の産業の魅力を伝える取り組みも行うことも良いのではないかと考えた。
- ・ 厚木基地を核とした多文化共生として、厚木基地は他にはないということで、大和市の強みになるのではないかと考えた。横須賀市では基地があることで活性化しているので、プラス面で活かしていくことはないかと考えた。3.11の際に復興のためのヘリコプターや飛行機が厚木基地から飛行したという話もあるので、悪いことばかりではなく、貢献しているところもあるため、そういったことをみんなで広め合っていこうといった意見も挙げられた。外国人も多いので、文化交流の機会を増やしていくことも大事である。また今日のような討論会に外国人も参加してはどうかといった意見も挙げられた。
- ・ 世代間や地域、行政などの連携強化として、イベントを活性化するためにどんな世代でも参加できるイベントが必要といった意見がある。既存のイベントだと参加する人が決まっているため、例えばカラオケ大会など新しいイベントを企画してつくっていくことが挙げられた。子どもが参加するようになると、大人になってもイベントに参加することになるので、子どもがそういった機会に触れることを促進しても良いのではないかと考えた。またこういった討論会で役所の方と接点を持ち、話すことが出来てすごく良い機会であり、役所を見る目が変わったといった意見が多数挙げられたので、こういった討論会がもっと増えると良いといった意見が挙げられた。



**(3)社会の健康 : テーマ⑩大和の魅力のPRについて**

**5グループ**

**【強み】**

<p>(いこい・自然の場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉の森、ゆとりの森</li> <li>・ 公園が多い</li> <li>・ 引地台公園ではバーベキューができる (機材貸し出し、ごみ回収あり)</li> <li>・ 休日バーベキューなら大和市へ (ゆとりの森)</li> <li>・ バーベキューができる場所をアピール</li> <li>・ 引地台公園</li> <li>・ 引地川 カワセミがいる</li> </ul> <p>(絵になる街)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山が見える</li> <li>・ 花をきれいに飾る家が多い</li> <li>・ ロケ地としての利用範囲を広げる (地区単位を貸し出せる体制づくり etc)</li> <li>・ ドラマによく使われる</li> <li>・ ドラマ、映画のロケ地 (市立病院、学校 etc)</li> </ul> <p>(弱みを強みに)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚木基地に近い</li> <li>・ 飛行機がよく見える</li> <li>・ 厚木基地 (マニア向け)</li> <li>・ 交通情報に良く登場 (大和トンネル)</li> <li>・ 大和トンネルといえば、今やほとんどの人が知っているの、その点を利用して、トンネルの道にPRになるような建物を造る</li> <li>・ 飛行場があるが、米国との安保条約がある以上、無くなることはないの、逆に飛行場のある街を良い方向にPRすべきである</li> </ul>	<p>(遺跡文化財)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千本桜 (春の時期) ※高座渋谷</li> <li>・ 緑が多く、意外と文化的である。常泉寺 (春～梅雨)</li> <li>・ 常泉寺 (みつまた)</li> </ul> <p>(スポーツ・イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FMやまと (コミュニティラジオ)</li> <li>・ イコーザ内のデコハチ</li> <li>・ 女子スポーツ (サッカー、バレーボール)</li> <li>・ マリノス大和</li> <li>・ なでしこ JAPAN のメンバー</li> <li>・ いろいろなお祭り</li> <li>・ ノーベル賞、根岸英一さんの再来</li> </ul> <p>(精神面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統に縛られておらず、新しいものを生みやすい</li> <li>・ 1級ではない魅力がある</li> <li>・ 庶民的で気どりがいい空気</li> <li>・ いろいろな場所 (国・県) からの人々の集まりである</li> </ul> <p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央林間駅 (田園都市線のターミナルとして)</li> <li>・ 交通の便が良い</li> <li>・ オークシティ (イオンとヨーカ堂)</li> <li>・ アクセスが良い</li> <li>・ 県内、他都県における立地</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地盤が固い</li> <li>・ 地震大国日本の安心な観光地</li> </ul>
---	---

**【弱み】**

<p>弱みを強みに・・・</p>
------------------



【課題】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔からある釣り堀をアピール</li> <li>・ 大和市外の駅にポスター・パンフレット</li> <li>・ 情報誌の利用を最大限に</li> <li>・ 市民向けの広報（広報やまとなど）だけでなく、全県・全国に向けた広報の努力</li> <li>・ マスコミ、特に記者との交流を密に</li> <li>・ 一番良い時季の写真を多く使う</li> <li>・ どうせなくなるから、うるさい基地をアピールする。珍しい飛行機が飛ぶときにマニアを集客する</li> <li>・ 飛行機を好きな人達も多いので、逆に飛行機が見える街としてPRする</li> <li>・ 基地をPRすることにより、問題に関心を集める</li> <li>・ 千本桜と常泉寺をセットにしたPRの強化</li> <li>・ 常泉寺はかつぱも有名</li> <li>・ お寺や神社がそれなりに多いのでアピール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各観光地で販売できる商品・グッズづくり+制度の整備</li> <li>・ 物産品をスーパーに置いてもらう</li> <li>・ 名物の（食べ物・お酒）試食&amp;試飲会</li> <li>・ お花見の時期を利用して出店 etc で集客力を上げる</li> <li>・ ビーチバレーのコートをつくる（海はないけど）</li> <li>・ ヤマトンとの握手会（イベント等）</li> <li>・ ヤマトンの恋人募集</li> <li>・ ヤマトンの仲間</li> <li>・ 市の鳥「オナガ」のキャラクター化</li> <li>・ ヤマトンを印刷</li> <li>・ コンビニでヤマトングッズ販売</li> </ul>
--	--



大和市の主要課題

1. ヤマトンのアピール

2. 女子サッカー

3. 厚木基地

主要課題への対応方針・解決

- ・ ヤマトンとの握手会（イベント等）
  - ・ ヤマトンの恋人募集
  - ・ ヤマトンの仲間
  - ・ 市の鳥「オナガ」のキャラクター化
  - ・ ヤマトンを印刷
  - ・ コンビニでヤマトングッズ販売
- ・ 女子がはばたく街
  - ・ 大和南高校 etc 成績を上げている中学校や高校をもっと応援！！
  - ・ なでしこメンバーと交流できるイベント
  - ・ スポーツセンターの利用でアピール（試合）
  - ・ サッカー施設の増強（プレー、観戦ともに）
- ・ 弱みを強みにしてPR材料に



討議内容の発表
---------

- グループのみなんで大和市の魅力は何かについて挙げていった。大和市は地盤がしっかりしているため、災害に強い。鎌倉と違い、伝統が少ないため、伝統に縛られない柔軟な発想がしやすい街ではないか。アクセスが良い。ドラマなどのロケ地が多い。泉の森、ゆとりの森など大きな公園が多く、そこではバーベキューが出来る。多摩川は有料化されているので、そういった意味でも強みになると考える。大和市の南部には引地川の千本桜と常泉寺を桜の季節に人を呼びこむPRとできないか、といったことを考えた。

## 【課題・解決策】

- 結論としては、3点のPRポイントをまとめた。1つ目は大和のゆるきゃら「ヤマトン」を全国区のキャラクターとし、ヤマトンに会いに行こうというようなPRが出来ないかと考えた。2つ目は、なでしこJPNで女子サッカーが有名になった。大和市は女子がはばたくまちとして、PRしていくことを考えた。3つ目は、厚木基地に対して、弱みを強みにしてPR材料としていけないかと考えた。
- ヤマトンについては、イベントや握手会、サッカーをやる、ヤマトンの仲間にハートンというキャラもいるので、コラボしつつイベントに参加する、市内のコンビニでグッズなどを販売することも考えてはどうかと思った。またコミュニティバスの、のろっとをヤマトンとコラボさせるといったことが挙げられた。まずは市民や他地域から来た人に、浸透させ理解してもらうことが大事だと考えた。他地域に向けては近隣の駅やマスコミに露出するなどをして、全国区になるようPRしていけばと考えた。
- 2つ目の女子サッカーでは、サッカー施設の充実、サッカーをやりたい人を呼びこむといったことが挙げられた。大和南高校の女子バレーが全国大会でも活躍をしているので、女子がはばたくまちということ考えた。
- 結婚して子育てをしようと考えたとき、母親の意見が通りやすくなるため、男子が強いまち、よりは女子が強いまちのほうが人も集まりやすいと思われる。そのために、施設の充実やスポーツセンターの利用をアピールして、実際に利用し力を入れていければと思う。
- 厚木基地については、騒音問題もあるため、基本的にはなくなってほしいといった気持ちであると思われるが、すぐに対応できることでもないため、あるなら使おうと発想の転換を行った。ゆとりの森では、航空機マニアが多く来ている。マニアだけでなく、飛行機が好きな子どもが家族と一緒にゆとりの森に来て、一日を過ごしてもらい、騒音などを実際に体験することによって、基地問題についても関心等を持ってもらえればと考えた。
- 大和トンネルに市のPRのためヤマトンを設置するといったことも考えた。マイナスをプラスに転じることも必要であると考えた。



**(3)社会の健康 : テーマ⑩大和の魅力のPRについて**



**【強み】**

(自然)

- ・ 街自体が美しく、緑が多い
- ・ 風景がきれい
- ・ 常泉寺のお花
- ・ ゆとりの森、自然、緑が多い
- ・ 二つの河川
- ・ 緑が多い(桜の名所がある)
- ・ 泉の森、ふれあいの森
- ・ 千本桜の桜並木が綺麗
- ・ 境川のサイクリングロード
- ・ 大和駅のプロムナード
- ・ 道が平坦
- ・ ファミリーで使える施設が増えてきた。泉の森、引地台、ゆとりの森

(イベント)

- ・ 祭りが多い
- ・ イベントの数が多い
- ・ 主催者がしっかりしている
- ・ 自治会でお祭り。ぼんおどり

(環境)

- ・ コミュニティバス、体の不自由な方、年輩の方もたくさん利用している
- ・ 交通の便(来場に便利)
- ・ 都心からの交通の便が良い
- ・ コミュニティセンター、駅が多い

(積極的な誘致)

- ・ ドラマや映画の撮影場所として多く使われる
- ・ テレビ、映画の撮影ポイントが多くある
- ・ フィルムコミッションがある

**【弱み】**

(情報発信)

- ・ 大きな公園の名称さえも知らない
- ・ イベントポスターがわかりにくい
- ・ 大和のPRパンフレットを見たことがない
- ・ 市のホームページがわかりにくい
- ・ 自分の地域以外の名所、名物を知らない、わからない
- ・ 地元のイベント以外はほとんど知らない
- ・ イベント=なんのイベント・祭り
- ・ 名前が分かりにくい。イベントの情報が行き渡っていない

(運用)

- ・ イベントの開催場所が偏ってる
- ・ イベント会場が複数になっている
- ・ 大和駅プロムナード東側ビルの出入り口無し

(解決策)

- ・ 市のHPへの積極的アピール
- ・ 大和人気レストランTOP
- ・ イベントカレンダーを作成する
- ・ 市民審査員参加のコンテスト(グルメ、レストラン★★★)
- ・ 自治会対抗ウォークラリー



【課題】

- ・ 魅力 PR の目的
- ・ お金を落としてくれる
- ・ 人が来ることで、交通が良くなる
- ・ 参加した人のきずな、つながり
- ・ 人、まち、社会の健康にとっても良い効果



大和市の主要課題

1. 情報量が少ない、  
情報多様化
2. 自然、環境整備をしたい
3. 魅力的な企画

主要課題への対応方針・解決

1. ・ターゲットに合わせた情報提供
  - ・ 情報発信源の一本化
  - ・ 情報量を増やす
  - ・ FM ヨコハマ、TVK で紹介してもらおう
  - ・ マスメディアによる情報発信
2. ・住んでいる人も楽しく感じられるようにする
  - ・ レンタサイクル（ゆとりの森）
  - ・ 整備を続けられる体制づくり
  - ・ 大和駅の活性化
3. ・スタンプラリー（歩きやすいので）
  - ・ 子ども向けのイベントをうまく利用する
  - ・ 市民参加型イベント
  - ・ コミュニティ、地域の結びつきを強くする



討議内容の発表
---------

## 【強み】

- ・ 強みとして、4つ挙げられた。自然については、緑が多い、泉の森、ふれあいの森、ゆとりの森がある、常泉寺と千本桜の花や桜が綺麗、大和駅のプロムナードの道が平坦である、ファミリーで使える施設が増えてきた。環境については、コミュニティバスを体の不自由な人や、年輩の人がたくさん利用している、コミュニティセンターが多い、交通の便が良いということが挙げられた。またイベントの数については、事前に資料をもらっていたが、思っていたよりも大和市内にはイベントが多いことが分かった。またドラマや映画の撮影ポイントが多いといったことも挙げられた。

## 【弱み】

- ・ 弱みとしては2つあり、情報発信で自分の地域以外の名所や名物を知らないし分からない。イベントのポスターがわかりにくい、自分の地元以外のイベント、市のホームページがわからない、イベントの情報が行き渡っていないことが挙げられた。運用面としては、イベントの開催場所が偏っている。これはもらった資料のイベントについて半分くらいが大和駅の近くで行われており、南部や北部に住んでいる人は参加しにくいのではないか、といった意見である。プロムナードの東側は出入り口が無く、アクセスが悪い。

## 【課題・解決策】

- ・ 主要課題として3つ挙げた。一つは、情報量が少ない。情報の多様化が課題ではないか。ターゲットに合わせた情報提供の必要があるということで、ホームページや携帯での閲覧、広報やまとの活用といった意見が挙げられた。FM横浜やTVKによる大和市の情報発信、タウン誌や新聞などによるマスメディアによる情報発信が必要ではないか。
- ・ 2つ目は自然や環境整備をしたいといった意見が挙げられた。住んでいる人が楽しく感じられるまちをつくるということで、ゆとりの森でレンタサイクルを行っているが、それ以外の駅でもレンタサイクルが出来ないかといったことが挙げられた。大和市といえば大和駅だが、大和駅ももっと活性化させた方が良いのではないか。
- ・ 3つ目にイベントなどの魅力的な企画を考えてはどうかといった意見が挙げられた。大和市内は坂が少なく歩きやすいので、散歩をしながらスタンプラリーをするなど、子ども向けのイベントをうまく利用していけばいいのではないかと。また市民参加型のイベント、コミュニティ、地域の結びつきを強くするイベントを考えてはどうかという意見が挙げられた。
- ・ 大和市の魅力PRの目的として、大和のイベントや大和市に来ていただいた方が、大和市にお金を落とすしてくれる。また人が来ることで交通が良くなる、お祭りやイベントに参加した人と、大和市に来た人が大和市民の絆のつながりが出てくる。人やまち、社会の健康にとって良いまちになるのではないかと。といったことが挙げられた。



**(3)社会の健康 : テーマ⑩大和の魅力のPRについて**

**7グループ★高校生**

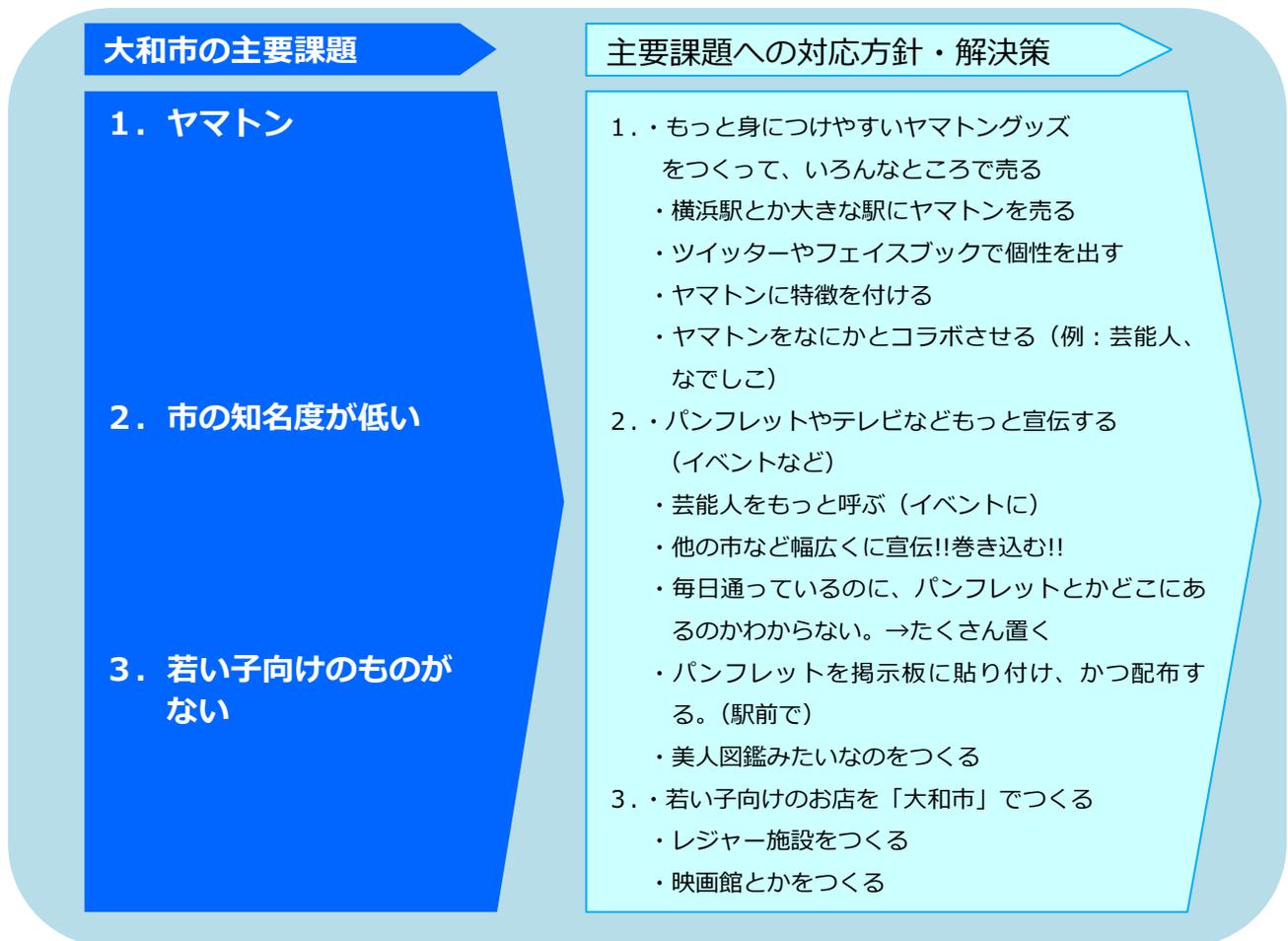
【強み】	【弱み】
<p>(イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントがいっぱいある、豊富</li> <li>・ 阿波踊りの時、地域の人盛り上がり半端ない</li> </ul> <p>(ヤマトン：交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案外、交通の便が良い</li> <li>・ アクセスがいいので、よそから来やすい</li> <li>・ ご当地キャラクターがいる</li> <li>・ ヤマトンのナルトへのこだわり</li> </ul> <p>(市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の人達がやさしい(お菓子くれたり)</li> <li>・ やさしい人が多い</li> </ul> <p>(ロケ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏木学園がドラマ「高校入試」に出た</li> <li>・ ロケをちゃんと受け付けている</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然が豊か</li> </ul>	<p>(ヤマトン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印象に残らない</li> <li>・ ヤマトンがかわいくない。大和に来て会いたいと思わない</li> <li>・ ヤマトンがゆるきゃらGPの70位っていうのは、納得がいかない</li> <li>・ ヤマトンにいまいち個性がない</li> </ul> <p>(イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントが知られていない</li> <li>・ イベントが多すぎて一つ一つに印象が残らない</li> <li>・ 若い人達向けのイベントが少ない</li> </ul> <p>(知名度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特徴のある街がない。みんな、程々に栄えている</li> <li>・ 特色がない</li> <li>・ 知名度の低さ</li> <li>・ 場所が知られていない</li> <li>・ 資料がいっぱいあるのに、一つも見たことがあるものがなかった</li> <li>・ パンフレットなどが普及されていない</li> <li>・ インパクトがない</li> <li>・ PRできるネタがない</li> <li>・ more PR</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元だけで盛り上がっていて他の地域に良さが伝わっていない</li> <li>・ お祭りの時、自治体の人が出している店ばかりで、普通の出店がないからお祭りの楽しい空気がない</li> </ul>



【課題】	
<p>(アピール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと宣伝する。</li> <li>・ いろんなところにパンフレットを置いてアピール</li> <li>・ もっと大和を宣伝する。TVなど。ロケをもっと行う</li> <li>・ もっとイベントを宣伝する</li> <li>・ 大和市以外にも、もっと多く情報発信</li> <li>・ お笑い芸人が来てくれるステージみたいなものをつくってほしい</li> </ul>	<p>(若い子向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人も参加したくなるようなことをする</li> <li>・ 若い人をターゲットにしたイベントをつくる</li> <li>・ イベントをいろんな地域に宣伝。地元だけで盛り上がる</li> <li>・ ○○ランドをつくる</li> <li>・ イベントを盛大に行う</li> </ul>

【課題の続き】

<p>(ヤマトン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトンのスクールグッズ</li> <li>・ ヤマトンのグッズ店を出す</li> <li>・ ヤマトンを他の市に売り出す</li> <li>・ そもそも売っているところとかは、ほとんど知られていないと思う</li> <li>・ ヤマトン以外にもっとゆるきゃらをつくる(ゆるきゃらが一番多いまち)</li> <li>・ ヤマトンをもっとかわいくする</li> <li>・ ヤマトンをゆるきゃらGPで1位にする</li> <li>・ ツイッター</li> <li>・ 若い人が身につけやすいヤマトングッズ</li> <li>・ ヤマトンをもっと売り出す</li> <li>・ ヤマトンをかわいくする方向でいか、ネタ方向でいか</li> <li>・ まずは市民にヤマトンを知ってもらうために、各掲示板にヤマトンを貼り付ける</li> <li>・ ヤマトンをCMに出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトンの存在をもっと出そう</li> <li>・ ヤマトンをもっと目立たせる(知名度)</li> <li>・ 知名度を上げる</li> <li>・ 特徴のあるまちづくり</li> <li>・ 大和市でなにか1位をとって、知名度を上げる</li> <li>・ 駅ビルを造る</li> <li>・ 人が集まりやすいところに、色々な店などを開く</li> </ul> <p>(まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すみやすさとか、土地のアピール(都心に比べて広いし安い。交通の便もそんなに悪くない)</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他県とは違うことをすべき</li> <li>・ もっとご当地土産をつくるべき</li> <li>・ 「大和ブーム」が起きるような何かをつくる。キャラよりお店</li> </ul>
---	--



作業シート (写真)

【議題】 大和の魅力のPRについて

グループ 7

【強み】

- イベント**
  - あやぶりの明
  - 地域の人の
  - い(は)の
  - い(は)の
  - ある
- 市民の人運**
  - が後しいか
  - (イベント)
  - 情...
- 観光**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの
- 交通**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの
- 自然**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの
- 観光**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの
- 観光**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの

【弱み】

- 観光**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの

【課題】

- 知名度**
  - あやぶりの
  - あやぶりの
  - あやぶりの

大和市が抱える主要課題

- 1 ヤマトン
- 2 知名度が低い
- 3 若い子向けのものが少ない

### 討議内容の発表

- ・ 大和の魅力のPRについて、サブタイトルに「僕らのヤマトン」というテーマで、ヤマトンを中心に高校生からの目線で話し合った。

#### 【強み】

- ・ 強みとしては、イベントがたくさんある、イベントに対して地域の人々の盛り上がりがすごい、ご当地キャラがいる、交通の便が良い、自分の学校がロケに使われた、といったことが挙げられた。

#### 【弱み】

- ・ 弱みとしては、若い人向けのイベントがない、ヤマトンがかわいくない、大和市に来てヤマトンに会いたいと思わない、ヤマトンに個性がない、知名度が低い、イベントを開催しても、地元だけで盛り上がりすぎている、PRできるものがない、といったヤマトンをメインとした弱みが挙げられた。

#### 【課題・解決策】

- ・ 課題としては、イベントがあるのにアピールが出来ていないので、知っている人が少ないことから、外部にもっと宣伝すべきだと考えた。またイベントでも若い人向けのイベントが少ないと思ったので、若い人向けのイベントがほしいと感じた。大和市という知名度が低いと思われるので、もっとアピールすべきと考えた。ヤマトンについては、ヤマトンのグッズがあると聞いたが、キーホルダーなどは、高校生は絶対につけないので、大きなぬいぐるみのようなキーホルダーなどをつくってはどうかと考えた。またヤマトンをツイッターでするのも良いと考えた。その際はヤマトンを毒舌キャラクターにするなど、個性を出した方が良いと考えた。
- ・ 主要課題としては、ヤマトンをもっとかわいくする、横浜駅など大きな駅にヤマトンを置いたりすれば、知名度も上がると考えた。なでしこJAPANや、今人気のある芸能人などとコラボレーションもしてみてもどうかと考えた。2つ目に大和市の知名度が低いので、芸能人を呼んでイベントを行ったり、大和市の美人を集めた美人図鑑をつくってアピールしてみてもどうかと考えた。3つ目として、若い人向けのものがないので、映画館をつくらしたりレジャー施設をつくれれば、もっと若い人が大和市に来ると考えた。



## [講師講評]

..... 国士舘大学政経学部教授 平石 正美 氏

- ・ 重要なポイントがいくつかある。例えば 1 グループで大和市の郷土史を自分たちでつくってみてはどうか、といった意見があった。おそらくいろんなものに対して、皆さん方自身が自分たちでつくるという時代になってきていると思われる。自分史づくり、伝記が非常に注目を浴びている。これ自体がビジネスになりつつある。これが住民参加において、自分がつくりネット上で閲覧できるようにすれば、みんなが参加できる可能性がある。各地域ごとに参加して、みんなでつくり盛り上がる事が出来る、共有するという時代になってきていると考えられる。
- ・ 図書館についても本が少ない、といった話があったが、図書館の世界とは一番変化の激しい世界である。状況としては、ほとんど電子化される。本を手にとってみるということが段々と少なくなってくる。アイルランドのダブリン図書館では、色んなビデオや DVD の映画を自宅にいながらネットで届けるというサービスを行っている。ハードの問題ではなく、ソフトでどのように充実させるかという問題に移行している。日本は大学での図書館から電子化を進めているが、5~10 年は遅れている。
- ・ イベントがたくさんあるが中心となるようなイベントがない、といったことがあった。そうするとそこに、集中と選択といったことが出てくる。このイベントについては盛大に行う。しかし、別のイベントは地域にほとんど任せていくといったことが必要になるとと思われるし、そこには基本的な問題としてのコミュニケーション、つまり情報提供がどのように行き渡っているのか、どういう方法を使えばどれだけの人が理解できるのか、どういった方法がいいのか、住民参加の中で考えていく部分なのではないかと考えている。
- ・ 4 グループで市民討議会にて市の職員と話が出来て良かったといった意見が出た。協働=一緒に地方自治をつくっていくということは、行政と市民の協力ということではなく、行政の職員と住民の人達がコミュニケーションを深めていくことが基本的前提なのだということである。それがやがて行政と市民の交流や協力に変わっていく。行政は大きくいえば制度の中で動いている。制度は社会環境で変化するので、前の行政と今の行政は異なる。これは変化していかざるを得ない。しかし、職員の間人性はそれほど変化しない。一人の友達を作れば、その友達からもっと広がりが出る。協働とは人と人との繋がりであると理解していただければと思う。
- ・ 大和市の PR の一環としてヤマトンがあるが、厳しい指摘を高校生より頂いた。彼女たちの中でどのようにすればもっと元気にさせられるのか、もっと認知度が上がるのかということについて、おそらく具体的アイデアもあると思われる。いろんなキャラクターを分けてみてはどうか、といったことも具体的な意見だと思われる。意地悪なヤマトン、やさしいヤマトン、正義の味方のヤマトンがツイッターなどで面白いコメントを返すことによって、もっとコミュニケーションが広がっていくのではないかと、といった話であったと思う。そういったキャラクターを高校生達に考えてもらおうとしたらどうなるか? こういったアイデアも出てくると思う。

- 今回の市民討議会の中で色々な課題と方向性とアイデアをたくさん頂いた。地域活性化には三つの段階が確実にあると考えている。一つは問題意識や危機感を共有するということである。今回の機会で、問題があった場合、自分だけが思っているのではなく、他の人達も思っているということを知った。これを良くしていかなければ大和市もしくは自分たちが住んでいるところは良くならない。こういった危機感を持っていくことが一番目である。二番目として、どのように問題を解決するかという方法論の開発である。今までのやり方でやっていくことで、解決できていない部分はずっと残っていく。解決するためには、方法論を開発していく必要がある。例えば、今までと違ったパートナー、違った人達とコミュニケーションをし、解決策を開発していくことがないと、おそらく方法論の開発にはならない。三つ目は非常に重要と考えているが、そうした皆さんのアイデアや運動を感動に変えていくストーリーが絶対に必要だと考えている。学生に常々言っているのは、人間は感動の数だけ喜びが増えていく、豊かになっていく、と話している。深い感動を味わった人間ほど、人に対してやさしくなれる。人の動きや努力を非常に理解できるようになってくる。これは市民参加や協働においても同じである。感動に変えられる部分にまで持って行って、初めて定着し継続される。岐阜県で県民夢づくり事業というのが行われた。県民の方々から夢になるような事業の提案を依頼するという、事業制度である。ここで大切なのは、事業として成立したときに、誰の提案で成立した事業であったかということを残すことである。そうすると、記録に残り提案した人達は、愛着を持って守っていこうという気持ちが芽生えていく。このように感動に繋げていくことは非常に重要であると考えている。
- 今回の市民討議会は、皆さんが友達やお互いに危機意識を持っている人達と語り合い、そこからアイデアを出していただいた。そういった機会をつくっていただいた大切な経験である。市役所の方々は感動のストーリーに変えていく責任、つまり具体化していく責任で、具体化したら皆さんとまた共有していく、実現が難しかったら再度集まってもらい実現できるように協力してもらおう、こういったことで本当の繋がりが出てくると思われる。
- 次の10年に向けての大和市のまちづくりに向けての提案である。
- これに対して、うまく役所の仕組みに編集し直していく責任が職員の方々の方にあると思うので、それはぜひ責任をもってお願いしたいということと、それを今度は感動のストーリーに変える努力をしていただきたい。感動するために、皆さんからまたアイデアを頂ければ、大和市は継続して良いまちづくりをしていけるのではないかと考える。



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」